

学習展開例（第1学年 英語 5ラウンド）

担当（ 栗田 ）

学期	単元名	標準 時数	学習展開例		想定 時数
			学校（みんな）ですること	家（一人）ですること	
1	Hi, English!	6		・教科書にあるイラスト等を見て、英語で言ってみる。（言える部分のみ）	
1	Round 1 （各ユニット2時間）	22	◎ 1時間×11ユニット ・帯活動では副教材等を活用し、リスニングを中心に行う。（E-NAVI等） ・「扉のページ」を活用するなど、各ユニットの導入を行う。 ・ピクチャーカードの並べ替えを行う。 ※それぞれのユニットで5回以上聞く。 ※最初の授業(Unit 1)で、家庭学習で行うなりきりリスニング、なりきりスピーキングのポイント等を確認する。 〈ポイント〉 ・登場人物の心情を考えながらリスニング・スピーキングを行う。 ・1カ所でもいいので、同じタイミングで単語（文章）を発音する。	・なりきりリスニング、なりきりスピーキングを行うなど、各ユニットのストーリーを10回以上聞く。 ※教科書は開かず、単語や文章をCDと同じタイミングで言う。	
1	Round 2 （各ユニット1時間）	11	◎原則、学習案どおり行う。 ◎ 1時間×11ユニット ・帯学習では副教材を活用してチャンツをしたり、動詞・形容詞カードを活用して発音練習を行ったりする。（イラストを見ながら発音する。） ・各ユニットのストーリーの振り返りを行う。 ・ワークシートを活用し、音と文字の一致をする。（ストーリーの順番を記憶でたどるのではなく、音声に従って目で文字を追う。） ※それぞれのユニットで5回以上聞く。	・なりきりリスニング、なりきりスピーキングを行うなど、各ユニットのストーリーを10回以上聞く。 ※教科書は開かず、単語や文章をCDと同じタイミングで言う。	
2	Round 3 （各ユニット2時間）	22	◎ 1時間×11ユニット ・帯活動では動詞・形容詞カードの確認、1分間チャット等を行う。 ・各ユニットのストーリーの振り返りを行う。 ・新出単語の練習をする。 ・コーラルリーディング、オーバーラッピング等、様々な方法で音読する。 ・読みにくい箇所を共有する。 ※音読回数は生徒によってスピードが異なるため、時間を設定することも可能。	・教科書を開いて、各ユニットの本文を10回以上音読する。 ・教科書を見ながら、本文をノート等に転写する。	
2	Round 4 （各ユニット2時間）	22	◎ 1時間×11ユニット ・帯活動では動詞・形容詞カードの確認、1分間チャット等を行う。生徒の実態に応じて、チャットしたことをレポートする。（リテリングにつなげる。） ・各ユニットのストーリーの振り返りを行う。 ・新出単語の練習をする。 ・穴あき音読プリントを活用し、音読する。	・穴あき音読プリントを活用し、各ユニット10回以上音読する。 ・穴あき音読プリントを活用し、本文をノート等に転写する。（自分のレベルに応じてA, B, C, Dを選択する。） ・教科書を開いて、転写した英文を添削する。	
3	Round 5 （各ユニット2時間）	22			
3	パフォーマンステスト （音読、リテリング、ライティング等）	10			
	定期テスト、休み明けテスト、検定試験 等	10			
	生徒の実態に応じて調整（文法の確認等）	15			
		140			

○「想定時数」は、学校ですること（授業）の時数とする。

○生徒の状況、授業時数を見ながら、次のような対応を行うことも可能である。

・ユニットによっては、ラウンド1を通常通り2時間で扱い、家庭学習で実施する予定のなりきりリスニング、なりきりスピーキングを授業で実施する。

（例 Unit 1, 2, 10, 11：2回ずつ、残りのUnit：1回ずつ）

・ユニットによっては、ラウンド5を行わない。

（例 Unit 4, Unit 8はラウンド5（リテリング）を行わない）

※ラウンドの一部を実施しない場合は事前に学びづくり課に連絡して下さい。